

## 〈解答〉

- ① 1 ①：西郷隆盛 ②：士族 ③：徴兵  
2 ウ  
3 ウ  
4 イ  
5 エ  
6 日中共同声明  
7 石油危機  
8 EU〔ヨーロッパ連合、欧州連合〕

配点 各1点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1 西南戦争は、1877年、西郷隆盛を中心として鹿児島でおこった士族の反乱である。士族とは、版籍奉還ののち、旧武士に与えられた身分で、華族の下、平民の上とした。明治維新の改革に不満を持つ士族たちにおされた西郷は約3万の軍を率いて熊本城を攻撃したが、政府軍に敗れた。この後、政治への批判は言論によるものを中心となった。
- 2 下関条約が結ばれた6日後、ロシアがドイツ、フランスとともに「東洋の平和のために」という口実で、遼東半島を清に返すように要求してきた。これを三国干渉という。
- 3 ウは1919年のできごとである。アは1939年、イは1937年、エ1911年に反乱がおこり、翌1912年に中華民国が建国された。これを辛亥革命という。
- 4 1950年に朝鮮戦争が始まると、日本本土や沖縄のアメリカ基地が使用され、大量の軍需物資が日本で調達された。日本経済は好景気となり、経済復興が早まった。アは1993年である。55年体制とは、1955年に自由民主党〔自民党〕が結成され、野党第一党の社会党と対立しながら、38年間にわたって政権を取り続けた体制である。ウは明治時代初期の文明開化のころ、エは1911年である。
- 5 1964年、東京・大阪間に東海道新幹線が開通した。アは1954年、イは1972年、ウは1956年のできごとである。
- 6 声明では、日本が過去の戦争について反省するとともに、中華人民共和国が中国のただ一つの合法的政府であることを承認し、友好関係を発展させることなどを確認した。
- 7 1973年にイスラエルがシリアやレバノンなどと戦った第四次中東戦争では、アラブの産油国が、イスラエルを支援するアメリカなどに対する石油の輸出を禁じる策に出たため、石油の価格が高騰し、石油危機がおこった。
- 8 1993年、EC〔ヨーロッパ共同体〕は、域内の市場の統合を完成させたうえでEU〔ヨーロッパ連合、欧州連合〕に発展した。